

平成28年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市民会館
所在地	加西市北条町古坂1丁目1番地
担当課	文化・観光・スポーツ課
主要施設	敷地面積7,970㎡ 延床面積5,982㎡ (文化ホール2,987㎡、コミュニティセンター2,995㎡)

2. 指定管理者

指定管理者	株式会社ケイミックスパブリックビジネス (旧株式会社ケイミックス)
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
指定管理料	42,598,000 円

3. 施設の利用状況

施設名	利用件数	利用人数	利用料収入
文化ホール	48件	3,608人	0円
コミセン	3,361件	54,829人	2,766,660円
自主事業	8回	2,997人	—
開催講座	26講座	587人	—

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	文化ホールの改修工事がコミセン利用者の減少に影響したものと考えられるが自主事業にも工夫を凝らし、利用者数、利用率ともに昨年の80%程度を維持した。 また、文化ホール供用開始の前倒しにも柔軟に対応し、リニューアル記念にふさわしいコンサートを開催して市民とともに新しい門出を盛り上げた。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。 施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	概ね良好。利用者の苦情・要望にも迅速に対応できており、大きなトラブルは無い。 また、利用者との意見交換会を開催するなど、利用者ニーズを吸い上げる努力を継続している。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。 施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	法令を遵守し、本社の指導監督のもと適正かつ質の高い管理運営を行っている。 また館内外の清掃管理には非常に気を配られており、施設は常に清潔に保たれている。 現場スタッフの急な退職が相次いだ年であったが、人員の補充ができるまでの間は残ったスタッフで業務をカバーし、支障をきたすことなく運営を行った。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	
4. 地域貢献	B	物品の購入などの取引には市内業者を利用するよう意識されている。 また「トライやるウィーク」の生徒受け入れに丁寧に取り組んだり市主催事業への協力を行ったりするほか、文化ホールリニューアルオープン時は盛大なコンサートを入場無料で開催するなど、地元への貢献について積極的である。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。 雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	予算額と比較して光熱水費が大幅に減額したが、工事の影響で施設利用が伸びなかったことなども影響していると思われる。その他エネルギーなどの経費については無駄の出ないよう適正に運営されている。 また委託料予算については、文化ホール工事に付随して不要になった点検作業などがあったため減額が生じている部分もあるが、ほぼ予定通り執行することができている。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。 指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	文化ホールの改修工事及び開館時期の変更など、難しい条件が重なる年となったが、現場はもろろんのこと、本社も含めて質の高い管理運営の達成に向けて努力していただいた。 来館者数、利用率は伸び悩んだものの、利用者の満足度を落とすことなく困難な状況を乗り越えたことは大きく評価できる。

【今後（次年度以降）の課題等】

社員の勤務がローテーションであるためか情報の共有と伝達に若干の脆弱性がみられる。常に来館者が入りし臨機応変な対応を求められる現場であるため、情報管理が困難であることは理解できるが最も重要な部分でもある。今後は情報の伝達における更なるスピードと正確性に留意して改善をしていただきたい。
文化ホールの改修工事も終了し、平成29年度は再び全施設の供用が開始される年となる。ますます効果的な施設活用と市民ニーズに応じた事業展開に期待したい。

S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組がなされており管理運営状況は極めて良好である。

A：協定書等のおおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。

B：概ね協定書等のおおりの取組がされており、管理運営状況も適正である。

C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。

D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

S：各項目の評価がA以上でSを含む場合

A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合

B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合

C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）

D：各項目にDが含まれる場合

平成28年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市立善防園
所在地	加西市西笠原町172-142
担当課	地域福祉課
主要施設	敷地面積8411.54㎡ 延床面積939.39㎡

2. 指定管理者

指定管理者	社会福祉法人加西市社会福祉協議会
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
指定管理料	92,544,000 円

3. 施設の利用状況

施設名	開園日数	延利用者数
善防園	253日	11,961人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	サービス間の利用定員をニーズに合わせて変更し、出席率が前年度に比べ、生活介護で4.2%、就Bで4.3%向上している。また、新規利用者を2名受け入れしている。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。 施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	生活介護を2班制から班数を増やし、利用者の特性に応じたグループ構成にすることにより、きめ細やかな支援を実施した。利用者の会やアンケート等により利用者等の意向や満足度について調査を行い、事業に反映している。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。 施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	人員配置については、配置基準を満たしており、問題はない。また、事業所内の研修を22回開催するとともに、事業所外の研修にも18回参加するなど、職員の資質向上に努めている。床材やドアの改修を行い、事故防止、衛生の確保を行った。防犯カメラの設置、消防点検の実施など、防犯・防災面にも配慮をした。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報が適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	11月にガーデンパーティーを開催し、市民と利用者、保護者との交流をはかり、園への理解を深めてもらった。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	デザイナー・パティシエと協働し、地域性を取り入れたお菓子の詰め合わせ「加西アルプスのおもてなし」を開発、販売を始めた。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	自閉症の対策に重点を置くなど、利用者の特性や個性を重視した介護に取り組んでいる。施設の整備や改修も適宜行い、利用者が利用しやすい環境を整えた。防犯カメラの設置を行い、研修も危機管理について行うなど、安全の確保にも取り組んだ。

【今後（次年度以降）の課題等】

利用者の心身の状態は多種多様であり、また、高齢化や支援区分の重度化が予想される。研修等により職員の資質向上を図るとともに、支援方法を工夫するなど、その人により適切な支援が行えるように努めていただきたい。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成28年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市古法華自然公園研修施設
所在地	加西市中山町、東剣坂町、西長町
担当課	農政課
主要施設	敷地面積 約150ha 研修センター、公園施設

2. 指定管理者

指定管理者	株式会社清光社
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
指定管理料	7,062,000円

3. 施設の利用状況

施設名	市内利用者	市外利用者	合計
キャンプ場	371人	9,641人	10,012人
B B Q場	435人	2,591人	3,026人
ウォーキング等	—	—	49,610人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	キャンプ場やB B Q場の利用者は増加したが、ウォーキング等の利用者数は減少している。自主事業も多く実施していたが、広報活動に問題があり、参加者は少数であった。事前に市と情報共有すべき課題もあったが、広大な施設を利用者が快適に過ごせるように管理されている。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。 施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	平成27年度よりアンケート調査を開始し、利用者の苦情対応については誠実に対応ができています。利用者が利用しやすい環境づくりは適切に行われている。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。 施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	施設の管理運営については、適正な人員配置を行い、必要な場合は集中して人員を確保し作業に当たっている。特に樹木の伐採及び除草剪定作業により、良好な景観整備に貢献したことは評価できる。施設については非常に快適な状態が保たれている。緊急時の対応等も特に問題なく、報告もされている。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	GW中には、地元野菜の販売、親子で取り組めるワークショップ等を実施し市内外からの集客に貢献している。昨年度同様、ハイキング大会を企画するなど、積極的に市と連携している。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。 雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	無料施設であるため、増収対策は見込めない。計画的な自主事業の実施が不十分であり、収支改善は難しい。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。 指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	広大な施設の管理運営については、対応できている。自主事業については事前の広報とともに、より多くの方が参加できる取り組みが必要。

【今後（次年度以降）の課題等】

- ・利用者のアンケート結果に基づき、より良好な公共施設となるよう運営管理に反映させていくこと
- ・より積極的に広報活動に取り組み、地域と連携したイベントを開催して、古法華自然公園の良さを市内外に発信していくこと
- ・繁忙期（GW等）における駐車スペースの確保

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成28年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市都市公園
所在地	市内12カ所
担当課	都市計画課
主要施設	丸山総合公園、ハイツ第1公園、ハイツ第2公園、さつき公園、朝妻公園、曾根公園、吉本公園、網引公園、常吉ふれあい公園、井ノ岡公園、大坪公園、網引緑地

2. 指定管理者

指定管理者	株式会社ホープ
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
指定管理料	16,000,000円

3. 施設の利用状況

施設名	許可申請件数	利用人数
丸山総合公園	106件	22858人
ハイツ第2公園	31件	1819人
朝妻公園	361件	7391人
吉本公園	1件	500人
さつき公園	0件	00人
合計	499件	32,568人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	A	公園利用者は前年と比較すると大幅な増加がみられる。 自主事業については、計画どおりに開催できない企画もあったが、幅広い年齢層が気軽に参加できる自主事業を行うことにより、公園利用者の増加へのきっかけづくりに取り組んでいた。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	HP・施設案内パンフレットを活用するなど、利用者への情報提供に努めていた。意見箱を設置し、出てきた意見・要望に関しては迅速・的確に対応し、回答についても掲示板に掲示していた。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	専門技能を有したスタッフによる作業を実施することで公園の適正な管理を行った。モータリングや技能講習、本社スタッフを含めたミーティングなどを通じて、技能・知識を高める工夫など努めた。また、安全管理や危機対応に対応するマニュアルを整備し公園利用者の安全の確保に努めた。 草刈や剪定を計画的に行うことで景観に配慮し、公園利用の快適性を充実させていた。 苦情、修繕なども随時担当課への報告をもらっていたが、一部緊急時の際に連絡体系が乱れる事案もあった。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報の適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	施設スタッフとして地元住民を雇用すると共に備品や消耗品は市内の店から購入していた。 自主事業については、北条東こども園の園児を招いた花植え体験やネッチャーゲームなど開催するなど、地域貢献及び健全な青少年育成への協力を行っていた。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	都市公園の管理という収入増加につながる取り組みが行いにくい業務であるが、運営経費を抑え、ソフト事業に取り組んでいた。
経費の削減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	都市公園の安全性・快適性を維持しながら、新たな自主事業を行うなど利用者サービスの向上を図っていた。 公園利用者等からの、要望や苦情に対して迅速に対処できた。

【今後（次年度以降）の課題等】

平成28年度より新たな指定管理者となった一年目だったが、大きな問題等なく管理運営を行っていた。市としては、今まで以上に適切な時期における剪定作業の実施と伐採した枝葉のチップ化による環境対策、経年劣化の見られる施設の適時の修繕、丸山総合公園の自然環境を活かし集客を図れる自主事業の実施により前年以上の利用者数増加及び利用満足度向上に取り組んでいただきたい。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取り組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成28年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市体育施設及びランドマーク展望台
所在地	市内10施設
担当課	文化・観光・スポーツ課
主要施設	加西勤労者体育センター、加西テニスコート、加西球場、加西市民グラウンド、多目的グラウンド、屋内ゲートボール場すばーく加西、グリーンスポーツ広場アクアス加西、加西南テニスコート、ぜんぼうグリーンパーク、ランドマーク展望台

2. 指定管理者

指定管理者	特定非営利活動法人加西市体育協会
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
指定管理料	30,401,520 円

3. 施設の利用状況

施設名	利用件数	利用者数	利用料収入	備考
体育センター	1,990件	18,697人	2,835,540円	
テニスコート	1,322件	8,024人	2,311,750円	
加西球場	186件	10,112人	1,270,800円	
市民グラウンド	120件	8,646人	80,850円	
多目的グラウンド	689件	12,153人	1,766,500円	
すばーく加西	454件	5,271人	446,250円	
アクアス加西	449件	7,731人	209,400円	サッカー1～3月利用停止
加西南テニスコート	357件	2,482人	622,800円	
南多目的広場	100件	3,103人	—	
ぜんぼうグリーンパーク	92件	7,677人	—	
ランドマーク展望台	—	6,164人	—	
合計	5,759件	90,060人	9,543,890円	

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	仕様書や計画書通りの開館ができた。 利用者数は前年度比113%となっている。 自主事業の卓球教室は開催50回、参加986人であった。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設の設置目的を達成できているか		

評価項目	評価	評価理由
2. 利用者の満足度	B	アンケート調査により、利用者の要望把握に努めている。また、ご意見箱を設置して、常時利用者の意見を汲み上げている。苦情等への対応は適切に行われていた。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	備品及び物品の管理は適切になされており、軽微な修繕は協定に即し、指定管理者で対応した。 アクアス加西、加西球場の芝生エアレーション、施肥等についても、専門業者を導入して施設の管理運営に努めている。 全ての施設において、概ね適切な管理が実施されていた。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		
4. 地域貢献	B	地元雇用は100%であり、施設修繕や物品購入も地元業者を活用している。 体育協会加盟団体と連携した施設利用を展開している。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	自主事業等の減があったが、施設利用料で補っている。支出項目も当初予算よりは減じた執行状況である。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	概ね実施計画書通りの管理運営ができていた。 施設の不具合修繕や雑草処理など利用者の目線に立った施設管理ができていた。ランドマーク展望台の登山ルートを新たに開拓するなど努力が見られる。予算の執行も良好であった。

【今後（次年度以降）の課題等】

アンケート調査の回数を増やして、利用者ニーズの把握を行っていただきたい。
各種団体と連携した自主事業の充実を図っていただきたい。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組がなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおりの取組がされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成28年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市玉丘史跡公園
所在地	加西市玉丘町76番地
担当課	生涯学習課
主要施設	公園面積6.2ha

2. 指定管理者

指定管理者	株式会社清光社
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
指定管理料	6,480,000 円

3. 施設の利用状況

施設名	利用団体	利用者数
公園	—	31,553人
グランドゴルフ	7組	260人

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	平成28年度の利用者数は31,553人であり、昨年度に比べ、利用者数が65%と減となっているが、前年度は風土記関連大型イベント等による40%の増があったためであり、その分が減っている。 自主事業は、計画書では未定も含め6件の企画が予定されていたが、4企画が実施された。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。 施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	公園ガイダンス施設内にアンケートBOXを設置し、利用者の要望・意見の把握を実施している。 施設の平等利用については適切に対応されている。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。 施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	大型遊具の導入により、幼児等を伴った親子連れの来園者が増加したが、安全面の注意喚起看板の設置など、安全対策、施設点検などは適切に行われた。 今年度は新たに健康遊具も設置され点検器具が増えたが、適切に対処できている。 事故防止のため、新たに釣り禁止の看板を設置している。 不時発生事案の対応・処理は概ね迅速になされ昨年度より改善されている。 公園内の植栽管理は順次行われている。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	一部外部委託には、地元のシルバー人材センターを活用している。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	概ね適切に執行されている。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	アンケート調査の実施や自主事業等の予定数実施など、改善が行われている。 ほかは事業計画に基づき、概ね適切に実施されている。

【今後（次年度以降）の課題等】

報告・書類提出等、事務レベルの即応性に改善の余地がある。
指定管理者の運営の適切さは評価できるが、健康遊具の設置・ウォーキングコースの新設など、利用者の多様化に伴い要望・事故・施設不備等の件数の増も予測される。こうした事態に対応できる十分な体制強化が望まれる。

【各項目の評価】

S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合